

Interview

今回はいきいきセンターで活動する、「日本語のへや」さんにお話をうかがってきました。



Q 「日本語のへや」さんの活動は？

日本語を母語としない方に、読み書き、会話、聞き取りを教えています。京都市国際交流会館のボランティア事業だったものが独立し、今年でおよそ10年になります。生徒さんの国籍は、韓国、アメリカ、ドイツ、中国、スイス、ソマリア、ジャマイカといった多岐に渡りました。個別には、お弁当の作り方、電話のかけかた、学校等から貰ってきたプリントの読み方などのお話もします。あとは、浴衣の着付けをしたり、七夕には、短冊を飾ってお茶をしたりしました。

Q 活動の醍醐味は？

生徒さんの価値観に関わる話ができることは魅力です。異なる文化を目にして、自分自身を見つめることになることもあります。例えば今回の震災で起きている問題に対して、生

徒さんからは「どうしてもっとちゃんと自分の意見を言わないのか?」といったことを言われたりします。日本では受容、もしくは受け入れるというような気持ちが強いのだと感じたり、また、行動すべきなのかと考えたりもします。

Q 活動の中で心がけておられることは？

自分が海外で言葉の分からない状況であればものすごくつらいと思います。ここで日本語を話す以外、お友達もいないし、日本人と話す機会がないという方がおられます。そういった方に安心して話して頂けるような教室でありたいと思います。

Q 今後の展望は？

震災を契機に帰国されたかたも多く、今は少人数でやっています。生徒さんが増えれば、パーティーのようなものも楽しいのではないかと考えたりします。あとは、教室の外での活動もしてみるといいかもしれません。神社仏閣などに一緒に行ってみるなど。忙しくてなかなかそういった計画は思うようにいかないこともありますが、何より楽しく続けていければいいなと思います。



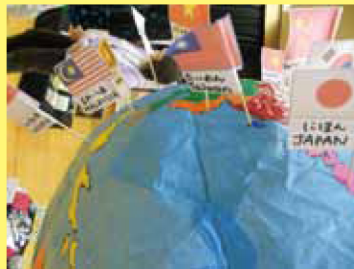
「日本語のへや」さん、インタビューにご協力ありがとうございました。今回は4人の先生方にお話をお聞きしたのですが、その中のお一人が、「何より、いい仲間恵まれた」と仰っていましたが、先生方の仲もよさそうで、とても楽しそうでした。是非これからも長く続けていって下さい。

「日本語のへや」さんへのお問合せは下記まで。
E-mail : nihongonoheya_kyoto@yahoo.co.jp
Tel : 090-7340-2476(Akamatsu)
090-2194-3107(Tokura)

ふれあい コラム

当センターがある施設の1階が、養正保育所です。現在児童数は175名、0歳から6歳までの子どもたちが、健やかに育っています。現在16カ国の子どもたちが在籍しており、11月11日・12日には、国際色豊かなイベント「イツアスモールワールド」が開催されました。互いの人権、文化、風習等を理解し尊重する心を育む事を、保育の重点取り組みの一つとされている養正保育所。笑顔が暖かい所長の江木朋子(えぎともこ)先生にお話を伺いました。

「大人になるための準備期間としての子ども時代ではなく、子ども時代を子どもらしく生きる事が大切です。保育所保育指針にもありますが、現在を最も良く生きる事が、健やかに育ちゆくことにつながると信じています。人生の出発点、土台となる時期の子どもたち、そして親御さんと共に過ごせる日々をとても幸せだと感じています。」お話を伺いながらも、自分の子ども時代を思い出し、目頭を熱くしてしまった取材班でした。



左京西部いきいき市民活動センターがある、出町柳周辺の街情報や、人情報をお伝えします。

いきいき市民活動センターで働く職員をご紹介します。



はじめまして!左京西部いきいき市民活動センターで9月から半年間、インターン(研修生)として働いています松原です。これまで本ばかり読むという生活を送ってきましたが、五月に震災ボランティアに行ったのがきっかけとなり、人のために何か自分のできることはないかと考えるようになりました。そして、まずは自分が住む京都で何かできないかと探していたとき、インターンに出会いました。始めて2か月足らずですが、月に一度の朝市、「わたしの来た道、そして今」のインタビューなど様々な活動をやらせてもらいました。また表の掃除、職員や地域の方のお話など他愛もないことが新鮮に感じられ、人のためというよりは自分が勉強になっている毎日です。インターンを通して、人と人が出会うきっかけ作りができればと思います。1月には落語会を計画中です、ぜひみなさんお越しください!

松原久(まつばら・ひさし)
大阪出身の22歳。
京都大学で社会学を勉強中



今後の活動予定(詳細は、後日ホームページにて)

● 新春いきいき寄席

日時:1月14日(土)13時半~16時(無料)
学生落語、活動団体さんによる出し物、抽選会などを予定。

● ダジャレ・川柳の朗読会

日時:2012年春(予定)
皆様よりダジャレ、川柳を募集予定。
選ばれた作品を朗読します。



私達が当センターに来て半年あまりが過ぎました。朝市や、10月に行なった地域の方々へのインタビューと展示の事業、そしてこのいきいき通信などを通じて、すこずつですが、お話をさせて頂く方が増えたと感じています。今年は震災もあり、「絆」という言葉をよく耳にしますが、人が助け合い、支え合うということは生活や地域社会の基本ではないかと感じています。そして、そうした関係は、挨拶など些細な日頃の一言からはじまるのだとも感じています。私達は今後も、文化にまつわる事業を中心に、地域の方や市民の皆さんに向けた活動を行なってまいります。そうした中で、交わされるそんな小さな一言を大事にしていきたいと考えています。(センター長:杉山準)